

# 三軒茶屋駅周辺まちづくりシンポジウム記録

■時間 2019年12月22日(日)13:00-16:00

■場所 昭和女子大学 学園本部館3階 大会議室

---

## ➤ 三軒茶屋のまちづくりについて

(区から基本方針、まちづくり会議、今後のまちづくり等について説明)

### ◇ 三軒茶屋というまちについて

- 三軒茶屋は、下北沢、二子玉川とともに、世田谷区の核で、広域生活・文化拠点に三軒茶屋を位置付けている。三軒茶屋という名称の由来は、江戸時代の三軒のお茶屋さんであり、古くから広域から人を集める拠点であった。
- 現在も商店街を中心としたにぎわいがあり、三茶大道芸などでも多くの人を集め、人口も増加している。その一方で、都市基盤は前回の東京オリンピック前後につくられたものが多く、現在の基準に表すと歩道が狭かったり、滞留空間を整備されていないなどの課題があると考えている。

### ◇ 三軒茶屋駅周辺まちづくり基本方針(平成31年3月策定)について

- 様々な方と一緒に連携をしてまちづくりを進めていくために策定した方針である。将来のまちのビジョンである「進化し続ける交流のまち三茶 Crossing」には、様々な人が「交流」し続けている、様々な交通の「結節点」となっている、にぎわいの商業・落ち着いた住宅が「組み合わせられている」など、様々な意味が込められている。
- そのビジョンを実現する上で「つたえる」「つなげる」「はぐくむ」という3つのまちづくりの方針、それに基づく9つの方策を掲げている。具体的な取り組みについては、三軒茶屋駅を中心に4つのゾーンに分け、機能イメージとしてまちづくりの方向性を大まかに示した。また都市基盤イメージでは、南北移動円滑化や回遊性の向上、地下鉄駅を中心としたシームレスな地下空間のイメージを作成した。

### ◇ 今年度の取り組み

- 基本方針を踏まえ、具体的なまちづくりの進め方を区で考えるにあたって、有識者、区民の方で構成する「三軒茶屋駅周辺まちづくり検討委員会」を立ち上げた。
- さらに多くの方にまちづくりを考えてもらうため、「三軒茶屋駅周辺まちづくり会議」を2回開催した。延べ130名を超える参加で、三軒茶屋の魅力の

共有や未来の姿、未来のためのアクションについて議論した。魅力、課題ともに基本方針や区の考えと一致したものも多く挙げられていた。

◇ 今後のまちづくりの進め方

- 2回のまちづくり会議、今日のシンポジウムを踏まえて、皆さんと一緒にまちづくりを進めていくための計画「(仮称)三茶のミライ」の策定を目標に、今年度は、計画策定のための素材を取りまとめたい。
- 来年度以降もまちづくり会議を継続し、多くの方と一緒にまちづくり考え、進めていく場である「プラットホーム」を構築していきたい。具体的なものは、改めて案内したい。

以 上